

町田市長賞

『税金で作る日本』

町田市立小山中学校 3学年 松村 菜子

私は、最近のニュースの町でのインタビューでこのような言葉を聞いた。

「増税ばかりでうんざりする。」

「税金を何のために払っているのかが分からなくなってきた。」

「日本は税金を無駄遣いしていると思う。」

私はこれらを聞いて首を傾げた。日本は本当に税金を無駄遣いしているのか、そもそも私たちが払っている税金はどこへどのように使われているのか、増税をしなくてはならないのはなぜか、など様々な疑問が頭の中を巡っていたからである。これらの疑問を解決するために、税金について詳しく調べることがあった。

まず、私たちが払っている税金は、警察署や市役所、公立病院、ゴミ処理施設、道路や橋の整備、学校の校舎や机、椅子、黒板、教科書などに使われている。これらはすべて、私たちが安全に暮らすために、必要なことだと気付いた。では、この中に税金の無駄遣いはあるのだろうか。

例えば、「ゴミ処理施設」は、これは、どのように私たちの払う税金と、関わっているのか、調べてみると、焼却場や最終処分場をつくるのはもちろん、ゴミを燃やすときの有害ガスを減らす装置、排水処理、回収、分別、

リサイクルにも税金を使っている。東京都では、約二千二百億円のお金を使っている。このお金には、私たち都民の不注意によって使っているものもあるそうだ。不注意とは、普通のゴミに、スマホやモバイルバッテリーを混ぜて出したり、スプレー缶やガスボンベの中身を出さずにゴミに出すことだ。この不注意が、ゴミ処理施設や一台数千万もするゴミ収集車の火災の原因となり、お金を使用しなくてはいけない原因ともなるそうだ。

税金を使うとなくなる、だけど税金を使う場面は沢山ある、少子高齢化によって増税されていることは真実であるが、本当にそれだけなのか、都民一人一人の意識の低さが、増税に繋がっているのではないかと私は思う。

私は、一度でも税金の無駄遣いをしないでほしいと思った人に聞いた。

「あなたは、毎回ゴミを分別していますか。あなた自身は、税金を無駄遣いしていませんか。」

日本に住んでいて、生活する以上は、日本の税金をより良い方法で使用するために自分には何をすることができているのかを考えて行動してほしい。また、「税」は、私たちの生活を豊かにし、支えてくれているものだと、忘れないでほしい。

私は、自分が支払った税金を、無駄遣いはしたくない。ゴミを分別するだけで、日本が良くなるなら、まずは自分が国民の見本となって、誰もが自然と分別できる社会にしていきたい。